

産能大学殿

所在地：〒259-1197 神奈川県伊勢原市上粕屋1573 tel.(0463)92-2211

ホームページ：<http://www.mi.sanno.ac.jp/>



授業やゼミに
プロジェクト
を活用されて
いる
勝田助教授

産能大学殿は創立22年を迎えた若い大学で、自由な校風、自然に囲まれた環境の中、3000名を超える学生がのびのびと学生生活を送っています。

産能大学殿は、創立時から、従来の大学教育に不足していたとされる実学にウェイトを置いた教育を行ってこられました。創立と同時に日本で初めて設けられた経営情報学部は、当初からパソコンを活用した教育が行われ、卒業生は進路先の企業から高い評価を受けています。一方、昨年創設された経営学部は、企業家やベンチャーとして活躍できる人材を育てていくことを目的としています。



大規模学内LANを有する 情報先端大学では、授業や ゼミで、プロジェクトも多用。

産能大学殿の学内では、約400台のパソコンやワークステーションがSIGN(Sanno Information Galaxy Network)と呼ばれるLANで結ばれており、ほとんどの教室やゼミ室・研究室がネットワークされています。研究室

などでは先生1人に1台のパソコンを配備。またパソコン実習室も、50台設置されている教室が4教室と20台設置されている教室が4教室もあり、たいへん充実しています。さらに今年から、新1年生の全員にノートパソコンの購入を指導しており、パソコンは使えて当然のものになっているそうです。同様にプロジェクトも駆使されていて、10数ヵ所の大教室には天吊り式のプロジェクトが固定設置されているほか、モバイル型のプロジェクトもNEC製を中心に数台がフル稼働しており、特にパソコン実習室には不可欠の存在になっているとのこと。さらに近年、パソコンにプロジェクトを接続して授業を行う先生が増え、移動して使えるプロジェクトへのニーズが高まっているそうです。そのようなことから、今回、経営学部1年生の必須科目となっている基礎演習において、投映型フルカラーモバイルプロジェクトLT150Jをお試しいただくことになりました。学生が操作するNECノートパソコンと接続し、パワーポイントによってレポートの書き方を演習する授業を見学させていただきましたが、先生が作成した資料を投写しながらの授業は手馴れたもの、という印象を受けました。

産能大学殿ではプロジェクタを多用されているご様子ですが、どんな用途でお使いなのでしょうか。



教務課・異相様

異相様 目的によって使い分けていますが、ビデオや書画カメラ映像上映の用途から、最近パソコンと接続して使うことが多くなりましたね。

勝田助教授 普通教室ですと、プロジェクタと板書とテキストなどを組み合わせて、めりはりのある、効果的な授業を進めることができるんです。

天吊り式のプロジェクタも、たくさん設置されているようですが。

異相様 はい。最近では小教室での授業やゼミでもプロジェクタを使う先生が増えており、移動のしやすいものが欲しいという声が高まっています。実際、今回もコンパクトなタイプを試させていただいたわけです。

今後、プロジェクタを導入するにあたって、決定ポイントとなるのはどんなところでしょうか。

異相様 まあ当然と言えば当然ですが、コスト、使い易さ、そしてメンテナンスのしっかりしたものということになります。特にメンテナンスは、移動などでかなりハードな使われ方をするわけで、故障した場合などのトラブル対応やメンテナンスでのバックアップ体制が整っているメーカーのものだと安心です。

機能・性能へのご要望はいかがでしょうか。

異相様 パソコンの性能がどんどん上がっていますね。ですから、それに見合った画質の向上を望みます。それと明るさです。学会や会議では部屋を暗くできるので問題は無いのですが、普通教室で使う場合を考えると1200ANSIルーメンくらいあると使い易いと思います。

LT150Jをお試しいただいた勝田助教授は、昨年まで民間のシンクタンクにいらっしゃったそうですが、プロジェクタを使った授業には思い入れなどがあるのでしょうか。

勝田助教授 そうですね、社会人になればプレゼンテーションは不可欠なものになります。特に、経営学を学ぶ学生は、学生のうちからプレゼンテーションすることに慣れてほしいと思っていますから、そのノウハウを伝えていきたいと考えています。

ノウハウとおっしゃいますと、たとえば？

勝田助教授 私がプロジェクタで映すのは、項目をキーワードにしたものです。見て考えさせるためです。これなどは、企業に対するプレゼンテーションにおいて、相手の注目を引き付ける手法です。

なるほど。では終わりにプロジェクタに対するご要望などをお聞かせいただけますか。

勝田助教授 今回モバイル型として試したLT150Jは、小さい教室で使うには十分明るいと感じました。一般的なことで言いますと、普通教室では授業の前にセッティングが必要ですので、投写角度調節や接続などがもっと容易になってほしいですね。あと、私が環境学専攻ということもあって以前から気になっていた点なのですが、ユニット型でバージョンアップできたり、部品交換できたりしたらいいと思いますね。

本日はどうもありがとうございました。



Key word

プロジェクタ活用のポイント

- ・パソコンの周辺機器としての位置付けになるので、情報管理課が管理、指導する。
- ・学内LANとプロジェクタを組み合わせたシステムで、パソコンを使った授業がより容易に。
- ・教室を移動して使うことが多いので、モバイルプロジェクタが多用されていく。